

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2024年12月16日(月)～22日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまをみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

今週は「ミカ書」を読み進めます。イザヤと同時代の預言者です。

12月16日(月)

今日の聖書日課：ミカ 3:1～12

それゆえ、あなたがたには、夜にも幻がなく、暗闇にも占いが無い。

ミカ 3:6

ここで「あなたがた」と呼ばれているのはイスラエルの預言者です。彼らは自分に利益をもたらす人に対しては「平和があるように」と叫ぶけれど、何もくれない人には聖戦を布告します(5)。そのような主に対して不忠実な預言者への報いは、預言者なのに「神の答えがない」(7)ということ。「占い」は主の預言者がすることではありませんが、不忠実な預言者にはかつて自分がやって来た占いすら与えられなくなるのです。ミカは言いました。「しかし、私には力が満ちている。主の霊によって、公正と勇氣に満ちている。ヤコブにはその背きを、イスラエルにはその罪を告げる。」(8)。私たちもひたすら聖霊を呼び求めましょう。

12月17日(火)

今日の聖書日課：ミカ 4:1～13

多くの国々が来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。私たちはその道筋を進もう。」それは、シオンからみおしえが、エルサレムから主のことばが出るからだ。

ミカ 4:2

「その終わりの日」(1)、世界中の人々が主の家の山、すなわちエルサレムにやって来ます(1)。3章までの罪深いイスラエルを主があわれんで救ってくださるからです。救われるだけでなく、エルサレムからこの救いのみことばが世界中に宣べ伝えられるからです。相変わらずすべての民族は自分たちの神の名によって歩みます(5)。しかし、そこにみことばが宣べ伝えられるのです。私たちもミカと同じくこのように宣言しましょう。「しかし、私たちは、世々限りなく、私たちの神、主の御名によって歩む。」(5)

12月18日（水）

今日の聖書日課：ミカ5：1～15

「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのために イスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

ミカ5：2

4章の不思議な救いは、ひとりの王によって成し遂げられる、とミカは言います。その王は小さな村、ベツレヘムから出て来る、と言います。新約聖書はこの王こそがイエス・キリストであると言います（マタイ2：5～6）。それは永遠の昔から定まっていたことでした。これはすなわち、私たちイエスによって救われる者たちの救いも永遠の昔から定まっていたということ。神さまの不思議な計画がここに 있습니다。私たちはその計画の中を日々、歩んでいるのです。さて、あなたはどのように神さまに応答しますか？

12月19日（木）

今日の聖書日課：ミカ6：1～16

主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。

ミカ6：8

昨日、考えた「神さまへの応答」、生き方とは何でしょうか？それがこの聖句。この「歩み」とは、まず主がその民に対してしてくださったこと。主の公正、誠実、へりくだり、民とともに歩んでくださったこと。それを鏡のように反射させることです。この主から目を離さないことです。

12月20日（金）

今日の聖書日課：ミカ7：1～20

あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは咎を除き、ご自分のゆずりである残りの者のために、背きを見過ごしてくださる神。いつまでも怒り続けることはありません。神は、恵みを喜ばれるからです。

ミカ7：18

この主のあわれみによって、イスラエルは救われるのです。「残りの者」とは主が選んでくださった者たち。それはまた、あなたでもあるのです。主が選ばれた者が、主を信じ、救われるのです。私たちは主の前に罪人として、しかし主のあわれまれた者としてこれからも生きるのです。「しかし、私は主を仰ぎ見、私の救いの神を待ち望む。私の神は私の言うことを聞いてくださる。」(7)

12月21日（土）

今日の聖書日課：テトス1：1～16

それは、偽ることのない神が永遠の昔から約束してくださった、永遠のいのちの望みに基づくものです。

テトス1：2

ミカ書で学びましたね。私たちの救い（永遠のいのち）は永遠の昔から約束されていた、ということ。この永遠のいのちに今日も生かされていきましょう。

12月22日（日） クリスマス礼拝

今日の礼拝説教箇所：マタイ1：1～17「私たちの救い主」。午後には祝会もあります。